19 de Outubro de 1917 No. 8

Noticias do Brazil

大正六年十月十九日　金曜日　第八號

伯剌西爾日報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Conselheiro Furtado No. 89
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno ..... 10$000
„ Semestre ..... 5$500
„ Mez ..... 1$000
„ Semana $800

植民地と婚姻

産めよ、殖やせよ、而して溢れよ。其處に植民の繁榮がある。其處に婚姻問題が湧く。清淨なる婚姻は健全なる植民地を建設する根本要件の一たるは云ふ迄もない。暫く植民自身の立場に依つて考へんに試みに玆に新婚の夫妻ありとせよ。若し彼等にして清淨なる婚姻に依つて成立せるものとせば雜多なる難題も必ずや解決し得べく。假りに容易ならずとするも協力せる最善は彼等自らを慰むに足る。更に一子を設けたりとせよ和親の風家庭に滿ち健實なる植民はこゝに萌芽す。單に打算の點より見るも先づ其の子は多額の旅費を要せずして親の膝下にあり。養育の難を云ふ勿れ。うは都會に齷齪せる人の言なり。田舍にては冬來るとも綿入れの必要更になく。フエジョンとアロースとを胃袋に充たせバナヽの蔭にゴロ〳〵と遊ばし置けば獨手に成育する事疑ひなし。學齡に及んで相當の敎育を忘れざれば長じて名實共に力ある伯國人たり日本人たり得。伯國人として恥しからざるは世界孰れの國へも等しく通ぜざる理なく、兒童敎育とは日本語を敎ゆるの謂ひにあらざれば强ひて兒童を故國に送還するの心要を認めず。伯國にも多數の敎育機關あり。

又た在耕地の日本人を見たる伯曰く日本人種は娛樂なき民族なりと眞に娛樂なきに非らず未だ財政に餘絡なきと歸心矢の如き結果である。婚姻に因つて新たなる緣類を增加し一族郎黨榮ゆるに從ひ彼等はうれに愚めらるヽ事多く有益なる娛樂は漸を追ふて完全に發達し行く。近頃土地熱と共に土着の傾向見ゆるは誠に慶ぶべき事にして中には子既に婚家をなせるを以て自分は歸國して樂隱居せんと心得る者あり。之等は鮭く近因たるを恐れねばなり。

吾人は在伯同胞社會に今少しく眞面目なる婚姻を要求して止まず。終に臨み吾人は更に步を進めて敎國にある敎育ある女性の渡航を促す。こは曾て同業者たる日伯紙が唱へし所にして伯國の森深く蒼勉せる幾多の有爲の少壯者は誠に彼等を慰むる異性なきに苦しむ。女性の與ふる一滴の愛は疲れたる彼等に勇氣百倍の効能を示す。女性は與ふる事に依つて求むる所を報ひられん。明治も去つて大正も既に六年を數へた。奇狂の女出でゝ時々世の暇人を騷がすと聞けど眼を世界に致せる眞に意味ある新らしき女は出でざるか。（五春）

△筆者の都合上「新式の農業は新智識を要す」の下は次第に掲載すべし。

農界資料

玉蜀黍の話　（二）

半農生

西班牙語の「マイス」（玉蜀黍）といふ言葉は初め「マリス」と稱へて居たものを「カリブ」土人が「マイシ」「マイス」と訛つたのである。「コロンブス」が「サント、ドミンゴ」「ハイチ」に到着した當時には最早「マイス」と言つて居た。北米合衆國には墨其哥及び此西印度「カリブ」から傳つたらしい。其耕作が一般に行き渡つて居たことは其後に渡來した歐洲人の親しく目擊した處である。

玉蜀黍が耕作物として西班牙「セバエ」に輸入されたのは千五百年の事である。夫れから佛蘭西、伊太利、土耳其及び歐洲東部に傳はり北部亞弗利加に擴つた。亞細亞印度支那にはは恐らく葡萄牙の航海者の手に依りて渡つたこゝ思はれる。

玉蜀黍の葉にて包み之を蒸すので「インカ」の使用せし「ウミンタ」から轉化したものと思はるヽ。伯國に於ける用法は今更申迄も無い。

玉蜀は動物の食用以外に適せぬかの樣に誤解して居る者があるが其乾燥穀粒の分析表は左の通りである。

類似蛋白質	一二、八五%
炭水化物又は窒素	七〇、一二%
エーテル越幾斯	五、三六%
灰	一、六七%
計	一〇〇、〇〇%

伯國では本年八月「バラナ」州「クルチーバ」に玉蜀品評會が行はれた何でも世界第一の玉蜀産國にする抱負で素晴らしいものである。

北米では十歲以上の小兒より或る玉蜀黍倶樂部がある。政府の方では種子を供給し父兄の方で土地を提供することになつて居る。「エーカー」の土地を標準として耕作成績の競爭をなすのである。

文苑

初産

みすゞ

河内丸が永がの航海を終へてサントスに着したのは八月の半ばで伯國の木の葉は色あせて恰もベンキの落ちた船側に見るやうな痛々しい疲れが漂ふて居た。其日は一面の霧に鎖されサンビセンテの海濱や山麓に連るバナヽ園は打ち濕り、荷馬車や電車のしきりが停滯した重い空氣を搖り動かして鬱陶しい音を立てヽ居た數百の移民を積め込んだ汽車が動き出すと何かは知らぬが船、汽車いづれの人々も能ふ限りのごら聲を叫び續けた。うの喧騷は暫しが程消ひもやらずサントスの空低く物憂くさまよつて居た。彼女は良人の住む國てふ懷かしさと慕はしさの以外には只だ淋しい國とのみ思つた。

誠や暖國の秋は取り分けもの悲しい。地上の萬象は心に煩ひある時自らの涙を之に注いで其悲痛に備ふ。

一と年の春、霞たなびける朝、露を含んで咲きヽうへるに神見うなはして麗はしとのたまひければ其の花忽ちにして散り失せたり。かくて戀人の胸深く女の寶を秘め隱せる彼女は彼岸も二百十日も曆の外に忘れたが玆に愈々最後の難關に逢着した。

生れて初めての經驗、女としての大役、不安の影は喜悅の波に漂ひ彼女の神經はいら〳〵しく興奮するのであつた。サントスに着いた折は最早胎內の子は肘を張り足を伸し盛んに活動して居た。

若き母!!　なこんの殘辨落ち盡くせど昨日の薰艷未だ消ねやらぬ若き母たる彼女の悲しみは、譬ば關の難所に登りつめし旅人が來し方の春暮れ行くを眼めつヽ都の秋に向はんとする心地にも似たり。

初産は難なく男の兒をもたらした大陸の空氣を思ふ存分吸ひこんで力強く一息に吐き出した時赤兒は勇ましく最初の泣聲を發した。

子を產むは決して女の誇ではない賢母の譽れは育てるにあると信じてる彼女は新らしき世界への境に立ち前途の輝きを認めつヽ旅にある夫の歸りをたのしく待つのであつた。

（をはり）

春の行衛

哭天

春を尋ねて野を山を
日ねもす木々の葉に草に
言問ひよれば、なよなよと
若木の腕　草の腰
のべつ、かゞめつ指す彼方
とけて結ずびて　ひらひらと
風に乘り行く蝶二つ
後追ひ行けば日は暮れて
道尙遠し丘もあり
月を今宵の道しるべ
やがて峠にたどり來て
かなたの山を眺むれば
春の行衛は影消へて
谷間は暗し道もなし

●無能和尙女に抱付かる。

陸奧の無能和尙未だ若かりし時行脚して或家に投宿したるに、其家の一女子、和尙の容貌の淸秀にして氣韻高きを見て戀情燃ゆるが如く、得堪ねずして夜半和尙の寢室に忍び入つた。時に和尙は屛風を廻らしたる中央に端座して、微音に音佛して居たから、女子は後より抱付た。和尙は尙平かに念誦して動かざること大山の如く、蚊子鐵牛を噛むが如き者であつた。女子は如何ともする能はず半時ばかりの後自ら出行しが、翌朝に及びて發狂し、取とめなき痴情を述ぶ。和尙乃ち憐れと見て病を癒してやつた。女子は是より終身他に嫁せず。（はなのし庫）

▼衛生講話▲

醫師　高岡專太郎述

衛生衛生と衛生の一點張りで食もたれが起きうだ、打棄つて置いても子供は育つ、衛生思想が無くても田舍の人間は立派な體格を持つてゐる……と云へば衛生の効果も少し疑しくなるが、これは衛生と云ふ事を實際に懸け離れた六ケ敷い者と見るからで、元來人類が穴居裸體時代から進化して家屋に住み衣服を被る樣になつたと云ふ事は既に〳〵明に衛生思想の存在した證據で又一面に於て人類として萬物の靈長だなどと意張つてをらるゝ原因の一つである、吾々は祖先の衛生思想を習慣として不知不識の間に行つてゐる事が多いのである、なんでも自然放任主義で良いとなれば、人間は穴居時代に後戻りせねばならぬ事になる、斯くして果して健康が保てるであらうか、人類進化の道程を顧みても時代に適應した進歩せる衛生思想が無くてならぬのである然し是れ迄稱へられた衛生と云ふのは餘まりに實際に遠かつてゐる、餘まりに狹い部分から見られてをつた、モット實際に近い者でなければならぬ、所謂消化の良い物計りを喰へ、風を引かぬ爲めに首卷をしろ、腹を大事にする爲めには腹卷をさせろ、と云ふのは消極的衛生、病人衛生で、僕の云ふ衛生では無いこんな衛生は人間を溫室で育てた植物見たいに柔弱にする計りで大いに排斥す可きものだ、然らばどんなのが眞の衛生であらうか。要するに自然を恐れず自然に適應して行く事が衛生の要諦である、即ち眞の衛生は積極的の者で無ければならぬ。然して行く可きである。食物でもさうである、無暗に消化が良いからと柔いものばかり喰つてゐたんでは胃腸の方が怠惰て良い事になつて消化に必要な運動力が減退して次第に胃腸が弱くなつて、色々な障害が起きて來るたまに堅い食物が行くと忽ち下痢を起す、こんなのは衛生とは云へぬのである。それより大事な事は飯食を美味い程度に止めて置く、即ち常に美味く喰ふと云ふ事は身體の自然の要求に適した最良の衛生法である、無理にかつ込むのは間違つてゐる、食物が不味かつたら多過ぎはしないか、運動不足で無いか不規則で無かつたかと、其他の原因を考へて改めて行かねばならぬ。

次に自然に適應して行くと云ふ事で特に日本人諸君に考へて頂かねばならぬ事は當國の氣候である、御承知の如く當國は熱帶地であり高山地帶である、純熱帶の植物もあれば溫帶の植物もあると云つた工合になつてゐる、それで氣候の上からして純熱帶地に比らべて日本人に適してをる點があるが然し熱帶地高山地と云ふ國其儘の食物、並びに生活法を續けて行くと云ふ事は自然に適應して行く道では無い、フエジョンも食ふ可しバナ、も大いに喰ふ可しである。モ一つ高山地で日本酒を飲む樣な工合にビンガを飲むのも大い間違つてゐる、必ずより以上健康を害してゐる事と考へるのである、こんな事は大いに周圍の國人を觀察するの必要がある。日本では其日暮し云ふて不用意な生活を笑ふてゐるが私は反對に其日其日の衛生をた勸めする。前號に述べた色色な外の事情や或は自己の身體に對する細い點に、起きてから寢る迄の間相當の注意を拂つて積極的に健康を增進せらるゝ事を希望する。

◉衛生顧問

●（問）小生義三ケ月程以前流行眼に罹り洗藥點眼と種々手を盡し候へ共兩眼の白身は血を以て滿たされ恐る可き颶風は再再我等のボートを覆へさんとした乘組員一同相戒めて辛くも難を免かれたが

△白晝四十度より　四十五度の間を毎日二回宛點眼罷在候が本藥は非昇下するに過ぎざる冷氣は肌を洗ひ候ひ通つてゐるたんでは胃腸の方が怠惰て良い事になつて消化に必要な運動力が減退して次第に胃腸が弱くなつて、色々な障害が起きて來るたまに堅い食物が行くと忽ち下痢を起す、こんなのは衛生とは云へぬのである。それより大事な事は飯食を美味い程度に止めて置く、即ち常に美味く喰ふと云ふ事は身體の自然の要求に適した最良の衛生法である、無理にかつ込むのは間違つてゐる、食物が不味かつたら多過ぎはしないか、運動不足で無いか不規則で無かつたかと、其他の原因を考へて改めて行かねばならぬ。

次に自然に適應して行くと云ふ事で特に日本人諸君に考へて頂かねばならぬ事は當國の氣候である、御承知の如く當國は熱帶地であり高山地帶である、純熱帶の植物もあれば溫帶の植物もあると云つた工合になつてゐる、それで氣候の上からして純熱帶地に比らべて日本人に適してをる點があるが然し熱帶地高山地と云ふ國其儘の食物、並びに生活法を續けて行くと云ふ事は自然に適應して行く道では無い、フエジョンも食ふ可しバナ、も大いに喰ふ可しである。モ一つ高山地で日本酒を飲む樣な工合にビンガを飲むのも大い間違つてゐる、必ずより以上健康を害してゐる事と考へるのである、こんな事は大いに周圍の國人を觀察するの必要がある。日本では其日暮し云ふて不用意な生活を笑ふてゐるが私は反對に其日其日の衛生をた勸めする。

△カムチヤツカ島　には六晝夜を送つた、斯くてゐる可きで無いから四十九名の船員を三分し三隻のボートに分乘ダッチハーバーに向つて航進する事とした然るに同夜亦前日に劣らざる大暴風となつた遂に三隻のボート散り〳〵となり余がボート（船長乘組）はアリユーチアン群島に平行の航路を執り北東に向つて進んだ恐る可き颶風は再再我等のボートを覆へさんとした乘組員一同相戒めて辛くも難を免かれたが

△白晝四十度より　四十五度の間を毎日二回宛點眼罷在候が本藥は非昇下するに過ぎざる冷氣は肌を洗ひ候ひ通つてゐるたんでは胃腸の方が怠惰て良い事になつて消化に必要な運動力が減退して次第に胃腸が弱くなつて、色々な障害が起きて來るたまに堅い食物が行くと忽ち下痢を起す、こんなのは衛生とは云へぬのである。それより大事な事は飯食を美味い程度に止めて置く、即ち常に美味く喰ふと云ふ事は身體の自然の要求に適した最良の衛生法である、無理にかつ込むのは間違つてゐる、食物が不味かつたら多過ぎはしないか、運動不足で無いか不規則で無かつたかと、其他の原因を考へて改めて行かねばならぬ。

次に自然に適應して行くと云ふ事で特に日本人諸君に考へて頂かねばならぬ事は當國の氣候である、御承知の如く當國は熱帶地であり高山地帶である、純熱帶の植物もあれば溫帶の植物もあると云つた工合になつてゐる、それで氣候の上からして純熱帶地に比らべて日本人に適してをる點があるが然し熱帶地高山地と云ふ國其儘の食物、並びに生活法を續けて行くと云ふ事は自然に適應して行く道では無い、フエジョンも食ふ可しバナ、も大いに喰ふ可しである。モ一つ高山地で日本酒を飲む樣な工合にビンガを飲むのも大い間違つてゐる、必ずより以上健康を害してゐる事と考へるのである、こんな事は大いに周圍の國人を觀察するの必要がある。日本では其日暮し云ふて不用意な生活を笑ふてゐるが私は反對に其日其日の衛生をた勸めする。

△カムチヤツカ島　には六晝夜を送つた、斯くてゐる可きで無いから四十九名の船員を三分し三隻のボートに分乘ダッチハーバーに向つて航進する事とした然るに同夜亦前日に劣らざる大暴風となつた遂に三隻のボート散り〳〵となり余がボート（船長乘組）はアリユーチアン群島に平行の航路を執り北東に向つて進んだ恐る可き颶風は再再我等のボートを覆へさんとした乘組員一同相戒めて辛くも難を免かれたが

△八月十七日に至り　アラスカ半島の一端に漂着した人跡稀れな處であるが漸くの事で飲料水丈けを補給する事が出來た左れ颶風は猶續いてゐる、强烈なる西の風は相も變らず吹き荒んでゐるのである此處に於て荒須賀の土人村には必ず村長と云つた格のものがゐるが彼等は之をタイオーと呼んでゐるタイオーは大王にも通じ

●日本語　と酷似してゐるではないか之れだけでは無い英語などは「犬走る道を」とか「彼はあります立派な人で」とか我等が見ると返つて讀ませるが土人語では日本語と少しも其のコンストラクションに於て異はないのである從つて日本人にして土人語を一二年も習へば立派に話せる樣になる但し彼等の文明は衰れなもので冬になれば無論

●穴居住　ひで二三疊敷きの所に家内寢起きする冬になると零度以下四十度にも下がるので尾籠な話だが凍死する恐れから便所の如きも室内で事足さなければならない、冬の仕事は獵や鳥の罠取りで鴨や鹿の群を爲して來るので之を取つて置くと食用に困る事は無い此野蠻な人に對して米國政府が意を用ふる事は非常なものである。

△八月十七日に至り　アラスカ半島の一端に漂着した人跡稀れな處であるが漸くの事で飲料水丈けを補給する事が出來た左れ颶風は猶續いてゐる、强烈なる西の風は相も變らず吹き荒んでゐるのである此處に於て荒須賀の土人村には必ず村長と云つた格のものがゐるが彼等は之をタイオーと呼んでゐるタイオーは大王にも通じ

●日本語　と酷似してゐるではないか之れだけでは無い英語などは「犬走る道を」とか「彼はあります立派な人で」とか我等が見ると返つて讀ませるが土人語では日本語と少しも其のコンストラクションに於て異はないのである從つて日本人にして土人語を一二年も習へば立派に話せる樣になる但し彼等の文明は衰れなもので冬になれば無論

●穴居住　ひで二三疊敷きの所に家内寢起きする冬になると零度以下四十度にも下がるので尾籠な話だが凍死する恐れから便所の如きも室内で事足さなければならない、冬の仕事は獵や鳥の罠取りで鴨や鹿の群を爲して來るので之を取つて置くと食用に困る事は無い此野蠻な人に對して米國政府が意を用ふる事は非常なものである。

◉運を天に　二千海里漂流實話

●琴平丸船長の遭難報告

七月二十七日我が琴平丸が最後の日は來たのである當時海上は濃霧を以て蔽はれ加ふるに恐る可き颶風怒濤に襲はれ然も琴平丸は向ひ風を受けて進航中であつたので

△猛然風伯の迫り　來る際には船體上自由を失する有樣全船相戒めて警戒たさ〳〵窓りなかつた然るに午後三時半頃轟然たる響きと同時に岩礁上に擱坐、相次で起る悲劇は僅僅五分を出でずして殆ど水し機關室は溢れ入る海水を以て充たされ船員一同身を以て免かるゝより外無い事となつた月の八日に入つて日に入つたのはセ事此處に至つては萬事休す、止む無く三隻の救助艇に依り上陸の準備に着手し辛くも目的を達した、遭難地一同の瞳は輝やいたのである、乃で點はカムチヤツカ島の南端なる一岩食料品を得可く近くの一灣に漕ぎ入ると其處は偶然にも池田灣である事が判つて

△九月十日池田灣　に到着後は池田有親氏の溢るゝ許りの親切に再生の恩を感泣しつゝ其の好意に浴しつゝある遭難地より池田灣迄我等の漂流里程實に二千海里に餘るのであつた

◉日本男子の大持て

●荒須賀土人は言葉から容貌迄も同じ樣だ

●日本語と殆んど同じが多い

「荒須賀の土人からは日本人が馬鹿に好れる現に自分の行つた所には織田、園田の二人が同地に永住してをるが何れも土人の妻君を持つて子供迄生してゐる」と荒須賀から歸つて來た當地の海東氏は語る「其處に行くと白人は荒須賀に幾らをつても土人の女に決して愛されない、之れは日本人と土人は第一に顏が其儘で我等にも見分けがつかぬ、第二には言葉が實によく似てゐる例へば

●土人語　でアニーと云へば兄弟の事だが日本の兄●●と似てゐる又太陽の事をアカハタと云ふ赤ハタなどゝ通ずる荒須賀の犬は毛が非常に多いが土人語で犬の事をケモクタと云つてゐる日本語でも毛の多い物を爾う呼ぶ場合がある又鮭の中の玉子をスヾコと云ふが之れも日本語と同じだ、荒須賀の土人村には必ず村長と云つた格のものがゐるが彼等は之をタイオーと呼んでゐるタイオーは大王にも通じ

●日本語　と酷似してゐるではないか之れだけでは無い英語などは「犬走る道を」とか「彼はあります立派な人で」とか我等が見ると返つて讀ませるが土人語では日本語と少しも其のコンストラクションに於て異はないのである從つて日本人にして土人語を一二年も習へば立派に話せる樣になる但し彼等の文明は衰れなもので冬になれば無論

●穴居住　ひで二三疊敷きの所に家内寢起きする冬になると零度以下四十度にも下がるので尾籠な話だが凍死する恐れから便所の如きも室内で事足さなければならない、冬の仕事は獵や鳥の罠取りで鴨や鹿の群を爲して來るので之を取つて置くと食用に困る事は無い此野蠻な人に對して米國政府が意を用ふる事は非常なものである。

聖市物價表（十九日）

豆	フエジョンプレッシュ白	七八基
全	マンテーガ	百リットル
全	ムラチーニヨ（新）	七五基
	古	上
	並	

三八、五—三九、〇
三二、五—三三、〇
二九、五—三〇、〇
二三、五—二四、〇
一八、五—一九、〇

爲換

英貨	一磅	一八針六四〇
日貨	一圓	二針〇〇〇
	伯貨	

●米作地として有名なる
「イグアペ」植民地

伯剌西爾拓殖會社
イグアペ植民地

●當植民地は醫師、獸醫、農業技師、測量技手、園藝得業士等常置し植民の保護誘掖上必要なる組織を有す

●現在日本人（九月卅日）　三百四十一人

●當植民地に於ては新來植民は耕作時期まで日雇又は請負勞働に從事することを得

●當植民地には資力乏しき者にても自作農業爲し得る方法あり（補助植民法）

●汽車のサントス港發は每週月曜水曜の兩度午前九時二十分發にして同列車のジュキア着は同日午後四時なり此の間の二等汽車賃は金十ミルレイス

●視察に最も便利なる
「イグアペ」植民地

聖波羅土地木材殖民會社

●當社はチエテ、リチフイユの兩河の間七十キロメートルに渡り數万アルケーレスを有する本州最大の殖民地にして水質良好、氣候溫和なる膏肥の地リチフエユ、及ビリグヒの二部分を廉價にて且つ其拂込方法を容易にして日本人諸君に提供す。

●當社は九百數十家族の各國人土地所有者を有し其の中日本人は二百有餘家族にして現在者百家族何れも入殖後日尙淺きにも不拘著しき成績を擧げつゝあるは今更喋々するを要せず一度視察して僞らず飾らざる絶好殖民地の眞實を知られたし

御用の向きは左記の場所へ御照會ありたし

宮崎八郎

Director-gerente Dr. James Mellor
Comp. de Terras, Madeiras e Colonização de S. Paulo.
Birigüy.

LINHA NOROESTE.

◉日本近信

●政府が婿の世話

交戰國に於ける人口增殖策

▼英國では傷兵結婚組合

現在歐洲の戰場では日に數萬乃至數十萬の兵士が塹壕の露と消わつゝあると同時に是等戰死者の遺骨は日に日に故國の墳墓と姿を變へてゐる從つて軍人の未亡人及び遺子の數は△益々殖へるばかり抱てゝ加へて男子の尠くなつた爲に結婚する事の出來ない女子が至る處に充滿する有樣である斯くして歐洲各交戰國では一兩年前から「人口增殖」と「婦人保護」と云ふ二つの問題が國家的に極めて眞面目に提唱されつゝある英國の如きは戰前迄婦人の數は男女の數よりも百二三十萬方多かつたが目下の處では五人の女子の中結婚するに相手の無いのが二人位づゝある勘定になつてゐる爲めに政府では人種保存と國家勢力助長との重大な立場から未婚の婦人をして成る可く簡易に而かも其生活上に或程度の保證を與へて一組でも餘計に結婚させる可く夫々の用意を怠らない、例へば倫敦の如きは政府保護の下に「傷兵結婚組合」と云ふのが有志間に設立され戰場から歸つた傷者で人種存續の△目的に適合する者を選んでは女子を配偶させ其間に生れた子供には或一定の時期に達する迄金錢上の保護を加へてゐる之が爲め近時英國に於ける結婚率は不思議なほど增進してゐる彼のジョッフル將軍が佛蘭西軍人に對し部下の軍人に各四日間の歸休々暇を與へ而して「母たる者は國家の下婢たる可し」との訓令を併せ傳へしめたと云ふ事なども今は既に極めて通例の事となつて了つた、

△負けない爲に　從來子供を持つた婦人の敎師となる事を禁じた法律を廢し併せて軍人に關する結婚上の困難な手續又離婚者の再婚に關する手續を總て簡易にし以て人種存續の目的を達せんとしつゝある彼の三十年戰爭後には一夫多妻が實現されて恰も鼠算的に人間が生れたが或は近くうれを再び繰り返す事にもならう但し新に

△生れた人間が完全に國家の中堅となる迄には今後二十年間を要するのだから實際の騷ぎと各國政府の之に對する焦慮とは吾人の想像以上にあるようである然し英、佛、獨何れの國も「人種存續」と喧しい問題を提唱してゐるもの丶露、佛、白の國境に近い處では其國の女子で敵の胤を宿し又敵の子を產んだと云ふ例も非常に多く而して子供の處置を如何にす可きかは之も近頃の新しい研究問題となつてゐる

●露國にて久原社員二名慘殺

▼武裝したる强盜の爲めに

▼ニコライフスク附近にて

先般來久原鑛業株式會社より金鑛石採取の爲め東部西伯利亞に出張中なりし法學士及び社員一名並に露國人の馭者一名はニコライフスクを北に距る五十露里の地にて嚴めしく裝武せる露國の强盜（或は脫走兵か）の爲め悉く慘殺せられたりと

▲慘憺たる

遺難の模樣

—一行十一名—

▽オルスク支配人

▽行衛不明となる

右に就き久原本店に於て發表したる所左の如し

本年五月露領西伯利亞地方に出張中の大坂久原鑛業株式會社々員法學士三村立人及同社醫御園生榮の兩氏並に露國人の從者一名の三人は八月中旬露領ニコライフスクを距る五十露里の所にて裝武せる露國强盜（或は脫走兵か）のため慘殺されたり

▼今其詳報に　依れば八月十四日朝七時半頃三村立人と御園生榮其他一行十一名に露人四名がニコライフスクを距る西北五十哩オルスク會社鑛山より二コライフスクへ歸途四人の露人は騎馬にて先頭に立ち續ひて第一の馬車に藥師工學士三村法學士御園生醫師オルスク鑛山支配人チルソンの四人が同乘し他は別れて其後

▼三臺の馬車　にて歸路を急ぎたり然るに此日濃霧甚だしくして前後を辨せず馬車の進行頗る困難を極めたる樣子なりしが進む事一里にして峠を越ね少し下り坂となりたる時先頭の四騎馬露人及び三村氏等の乘れる馬車は俄かに速度を早めたると思ふ間もなく第二の馬車の前方にて續いて

▼二三十發　の銃聲聞ねたれば驚破一大事こう起つたれと後續部隊の各員は何れも銃を取つて駈付けたるに藥師技師は叢中より面を現したるも馬車は滅茶々々に壞たれ馬は斃れ居り三村法學士は背部を御園生醫師は腹部を射擊され

▲共に即死し　居りオルスク會社支配人チルソンは行方不明なりき此時銃聲を聞付けて集まり來れる附近の露人支那人朝鮮人の應援を得て極力捜査したるも賊は既に雲霞と逃げ失せたる後にて全く影だに發見せざりき茲に於て藥師工學士及び一行は其夜十一時ニコラフスクなる島田商店の好意によりて一先づ島田方に落付き三村御園生

▼兩氏の火葬　を彼の地にて營み遺骨を不日本國に送り來る順序になり居れり右に就き久原鑛業株式會社には遺難の報あると同時に三村法學士の遺族岡山縣後月郡伊原町なる老兩親及び御園生氏の實兄にて現今久原家製作所の一部日立數作所の技師たる大場工學士等に直に場告したるが遺骸到着の上改めて總ての處置を取る事となれりと

●萬龍の內祝言

▼いよ〳〵岡田工學士新夫人

工學士岡田信一郎氏と、恒川陽一郎氏の末亡人靜子（元の萬龍）との婚約は笹川臨風、中村政次兩氏の媒介で愈成立つたので八月二十日午後五時から星ヶ岡の茶寮で其の內祝言を行つた岡田家では花嫁御の

●前身が前身　だけに世間の評判を

漠でか極めて秘密に取扱ふ豫定であつたが何時傳はるともなく知れ渡つて終つて山王臺の木影には見物の人が散ら〳〵見れた樣で四時半先觸れともいふべき二臺の人力車が山門下の坂に着くと間もなく十數臺の車が相次いでスーツと着く義裝した男女がゾロ〳〵降車し坂下から徒步で坂を昇り始めたが幌を掛た二臺の人力車は其儘

●後押をつけ　て急な坂を昇り茶寮の入口で停つた此車こう花嫁靜子夫人と母の名代として來た妹の八重子と二人で靜子夫人は高島田に結ひ腰から裾に松と鶴龜をあしらつた目出度い模樣の黑絽五つ紋付下には白絽大廣間で正面床の右側には着物に堅絽の紋付を着して袴を穿いたむこ殿の岡田氏を筆頭に同氏の母堂令弟復三郎氏以下兄弟親戚の人々數名居並び又左側は花嫁の靜子夫人を初め故陽一郎氏の實弟恒川吳作君高木豐三博士夫妻及び靜子の妹八重子

●其他恒川家　の親戚で仲人の笹川氏夫妻等合計十八名何れも定めの席に着くと應て三々九度の式は始まり約一時間で終つて八時十分目出度く開きとなり新郎新婦は晴やかに相携へて牛込の岡氏方へ引揚げた

□東西無駄ばなし

琴平丸船長の乘つたボートが殆んど四十日を海上に漂泊し約二千五百海里を隔つる加奈陀の池田灣に漂着したとの報はどうしても人間界の出來事ではないといふことだ◎或る高級船員にきいて見ると潮流の關係で池田灣へ着いたと思はれるが夫れにしても二千五百海里以上を漂流して一名の死傷者も出さなかつたなどは奇蹟だと語つてゐた◎併かし漂着する處も澤山あらうに撰りに撰つて同胞の名が地名になつてゐる池田灣に着いたといふに至つては何といふか……矢張り有難い御說でもかつぎ出さねば納まりのつかぬ處だラ

são は 6 の複數なる場合なることは estão の está に對する場合と同樣である。é, são の次に de 來るときは 誰々のものである 又は 何々から作られたものである の意を表す。例へば「りの本はパウロのものである」O livro é de Paulo.「人形は厚紙で出來て居る」A boneca é de papelão.

4. 斯くの如き問ひの文は讀む時話をする時文の終りの方を調子上げで言ふのである。此の場合上げ調子に言はざれば問にあらざるものとなる。但し第一課の (8) の問ひ文の如く文の先きに問ひ語 (como) ある時は其問ひの語丈け調子を高め以下の語を漸次下ぐ可し。você は 汝 御前。君。等を言ふ語にて言ひ換れば眼下のもの。親しき友人。に對して御前はとか君はなど言ふ時用ひられ。眼上の人。友人にして親しからざるものに對しては o senhor と言ふ可し。

7. Olhe は話の對手に御覽なさい。一寸見さいと言ふことにて邦語で俗に言ふ オイ。モシ。一寸。は此れである。此場合には唯 olhe の一語にて足る。para は……の方を 又は……の方への意。

練　習

1. 何處に雌牛は居りますか
2. 牛小屋の外に居ります
3. 貴方は雌牛を見ますか
4. 彼等は今は牧場の中に居ります
5. 牧草を食ふ所です（牧草 Capim）
6. 球(定まれる)は男の子の傍にある
7. 本(りの)はパウロの手にあります

練習課題答案

1. Eu vejo uma menina. (エウ ブエージョ ウマ メニーナ)　私は一人の女の子を見ます
2. Esta menina chama-se Maria. (エスタ メニーナ シャーマセ マリーヤ)　此の女の子はマリアと申します
3. Maria tem uma boneca. (マリーヤ テン ウマ ボチーカ)　マリアは人形を持つて居ります
4. Tem tambem um livro. (テン タンベン ウン リブロ)　彼女は亦一冊の本を持つて居ります
5. Ella tem uma boneca e um livro. (エラ テン ウマ ボチーカ エ ウン リブロ)　彼女は人形と本を持つて居る
6. A boneca chama-se Lucia. (ア ボチーカ シャーマセ ルーシア)　人形はルシアと申します
7. A boneca está no cólo d'ella. (ア ボチーカ エスタ ノ コーロ デーラ)　人形はマリアの膝の上にあります
8. Eu tenho um gatinho e um cachorrinho. (エウ テーニョ ウン ガチーニョ エ ウン カショリーニョ)　私は小猫と小犬を持つてゐる
9. O gatinho é branco e o cachorrinho é preto. (オ ガチーニョ エ ブランコ エ オ カショリーニョ エ プレート)　小猫は白く小犬は黑くあります
10. Paulo vae á cidade. (パウロ ブアエ ア シダーデ)　パウロは町へ行きます
11. Maria vae á cidade comprar uma bola. (マリーア ブアエ ア シダーデ コンプラール ウマ ボーラ)　マリアは町へ人形を買ひに行きます
12. Chamo-me Antonio. (シャーモメ アントーニオ)　私はアントニオと申します

註解　2. Esta はエスタと讀みエを明かに發音す。此語は第一課の (2) の este と同じく此ノと物を名指す語にして前者は動物や人の女性の物を表はす語を指し後者は男性の物を表はす語を指すに用ひらる。um と uma 並びに o と a の區別も上と同じく um, o は男性 uma と a は女性の物の名に用ふる冠り詞である。併し無生の物でも語の末尾が

●正貨十臆　日本も大威張

在外正貨も五億五千萬圓

急速なる我が富の膨脹力

歐洲戰爭が產み出した我が經濟界の好況は政府及び日本銀行の正貨所有高を激增せしめ甞ては在外正貨の充實に頭を惱ました我國の財政家は今や洪水の如くに流入して來る正貨を●如何に處分　すべきかといふ問題に頭を惱まして居る大藏省の調査に依ると八月六日現在の正貨總額は九億三千九百萬圓に達し前月末の現在高に比して千五百萬圓も增加し更に之を昨年末の七億一千三百萬圓に比べると二億二千六百萬圓を增加して居る元來我國の正貨は日露戰爭前には常に二億圓內外に過ぎなかつたが戰爭當時には一躍して四億圓臺に上り大正一二年頃には又もや●幾分の減少　を示し日獨戰爭の開始された大正三年には三億四千萬圓許りに減じて居た然るに其翌大正四年になると俄に對外貿易の殷盛を來たし正貨はずん〳〵增へて行く一方になつて我財政家の面上にも晴やかな色が漲るやうになつたのであるうして居る若し此割合を以て進めば九月の末には優に十オク圓を突破する事請であるまだ〳〵戰爭が長引くとすれば現在五オク五千萬圓に達して居る在外正貨が遂には十オクにも上る日が來て我國の財政的信用が愈々高まつて來であらう

●高田博士の絶緣

●名譽學長も維持員も辭任

●早稻田大學と關係を絶つ

早大學長問題は紛紜の極評議員會を代表せる五名の委員の調停斡旋も其甲斐なく委員が立てた兩度の提案はではありませんか蟻は賢い虫であるの消化し難い核素が體內に滯つて尿酸になるので其爲に血が枯々して濃天野博士の容るゝ所とならず終に全くといふ事は諸君も承知して居りませうが農業をする蟻があるといふので厚になり血の流動が鈍くなる血が心臟がだるくなつく不調に了り紛紜愈甚だしくなつたので曩に一たび辭表を大隈總長に呈して聽かれなかつた高田博士は今回の紛擾は自分に學長●再任の希望　ありとの誤解が其一因を爲せるものである故この場合一身に全責任を負ひ名譽學長の優遇は勿論終身維持員をも辭退すると左の辭表を維持員會宛に提出した

自分儀曩きに總長の命に依り紛擾解決の任に當りたるも其目的を達する能はず慙愧の至に勝へざる由を以て辭職願出置候處更に加ふるに自分が事局收理の任に當り其責任を全ふする能はざるは內外に對し全く面目を失ふ所以なるのみならず今回の紛擾たる自分の不德不明に基因する誤解一層問題を復雜ならしめたる樣考へられ候間此場合一日も早く終身維持員の職と名譽學長の稱號とを辭退し責任の歸着を明に致度速に御許容願上候也

大正六年八月十五日　高田早苗

うこで早大維持委員會は八月二十二日午前九時より午後に亘りて同大學恩賜館會議室內に開かれた議題の中心は高田博士の名譽學長及維持員の職に對する

▼辭表の採否　にあつた集まれる人々は（天野、高田兩博士及び學長問題の一切にかゝはる事を望まずして辭職せる阪田、中村兩博士、益子喜一郎氏等を除き）坪內、金子、阪本、阿部、小大隈等十三名の維持員全部であつた會議室たる赤煉瓦の二階から屢々高聲が洩れてゐたが午前十一時稍過ぐる頃同大學の學務主事は蒼白なる顏にたゞならぬ色を浮べて恩賜館を出て來た高田博士の●辭表は可決　となつたのである、「實に學校にとつて非常な事です」と主事は聲をふるはせてゐた斯て高田博士と早稻田大學との三十年來の關係は茲に全く斷絕したのである

蟻の農業

秋になると農夫は稻を刈り米を收穫して來年の食物にするのですがれが人間ばかりか昆虫社會にも矢張つて茶の中にある茶素と同じ樣な物である肉を食ふと肉の中にある此の消化し難い核素が體內に滯つて尿酸になるので其爲に血が枯々して濃厚になり血の流動が鈍くなる血が心地よく流動せぬと體軀がだるくなつて頭痛を覺ゆる事になる因て肉を食ふと云ふ譯になるのであるが秋になると川などの水が流れが鈍い爲に黴菌類が殖ねて臭い如くに身體も呼吸も臭くなるの

ある蟻が巢から出て來て其の實を採つて歸つて行くさうして蟻は其の實を倉庫に貯へて年を越すのだといふのですから誰でも其の智慧に感心せずには居られません動物學者はこの一種の特別な蟻に名をつけて「收穫蟻」といつてゐます蟻は農業をして米を作るばかりぢや無い松茸や椎茸と同じ種類の茸を作るのですから愈々感心至極なものです

南アフリカに住む蟻の一種は夏の暑い盛りに外へ出て木の葉を圓く噛み切つてさながら日傘の樣にしてせつせと巢の中へ運ぶさうです、さうしてゐればまた海綿の如く噛み碎いて畠に積み重ねるといひます其の畠は巢の中にこしらへてあるのですが大きい茸畠になると廣さ三間位のもあるさうですが其處に積み重ねた木の葉の高さが三尺位あるといふから、まア大層な仕掛ですね斯うして置くと木の葉が柝ちて肥料になつて一種の茸が繁殖する其の菌には松茸や椎茸に似た傘が出來るがうまい、蟻はこの茸を噛み切つて干して貯へて冬の食物にするのださうで蟻の農業としては隨分進歩したものですね

●野菜は頭痛妙藥

十九世紀の末頃英國の婦人小兒科醫のハイグと云ふ人が自分が頭痛持の所から二十年間の自分の身體に注意して研究した結果肉を食ふから頭痛するのである野菜を食へば頭痛がしないと云ふ事を發見するに至つた

□隅田川の水　ハイグ氏の研究に據れば肉類の中には核素と云ふ物があつて茶の中にある茶素と同じ樣な物である肉を食ふと肉の中にある此

□精神病者の血　精神病中殊に多い精神病者が臭いのも血が斯く停滯して居る樣になつて流動が遲くなつた者である事が解る

□野菜の効能　此類の精神病者の臭い匂ひを取去るには香の良い物を食へば治る精神病者にも成る可く野菜を食はせるがよい即ち頭痛持は勿論精神病者の多數には大に野菜を食すれば大抵全治の幸福を得るであらうと信ずる

○カマラダ募集○

月給百弗

△食料として廿五弗を差引く

△仕事　除草（食事上等）

（日曜午前九時迄）（土曜午後一日分）

△聖市、耕地間の汽車賃を支拂ふ

齊藤武雄

希望者は左記宛て

Fda. Santa Eudoxia

Estação Alfredo Ellis

Linha Paulista

聖市コンデ街四六

渡邊孝宛て御照會あれ

年中無休業

朝陽軒

理髮師　吉村武

聖市コンデサルゼーダス街六九

o, l, s 等で終る語は男性の物の語と同じく取扱はれ a, dade 等で終る語は女性の語と同樣に扱はる。

4. Tem の前に ella(彼女ハ)を置くも宜し。玆には彼女が持つと云ふこと明なれば唯 tem と言ふたのだある。

7. no は本文 (9) に於ける na と同意にて em (中に) と冠詞 o が合縮せるもので (中に) と言ふ語である。邦語にては膝の上にと言へどもブラジル語にては膝の中にと言ふ。尙例へば寢臺の上に休むと邦語にて言ふ所を玆にては寢臺の中に休むと言ふ。言ひ表はし方の相違なれば注意すべし。d'ella は de(') と ella の合縮せるもの即ち彼女ノである。

8. Gatinho, cachorrinho はいづれも gato(猫) cachorro(犬) の語尾にある o を取り去り inho を附したるものにて inho は小さいと言ふ意を表はし小猫小犬となる。livrinho は livro の小さきものである。

10. 町へ行くは vae á cidade. と言ひ vae na cidade. と言ふ可らず。á は……へ, ニの a とと冠り詞の a と合約されたるものにて (') の强音符を附す。

第二課 (Lição Segunda)

1. Aqui está um curral.
（アキー　エスター　ウン　クラール）
此處に牛小屋がありまず

2. Dentro do curral estão uma porção de vaccas.
（デントゥロ　ド　クラール　エストン　ウマ　ポルソン　デ　ヴァーカス）
牛小屋の中には澤山の雌牛が居ります

3. As vaccas são do patrão.
（アス　ヴァーカス　ソンド　パトロン）
雌牛は主人のものであります

4. Você vê as vaccas?
（ヴォセー　ヴェー　アス　ヴァーカス）
汝は雌牛を見ますか

5. As vaccas estão perto do curral.
（アス　ヴァーカス　エストン　ペルト　ド　クラール）
雌牛は牛小屋近くに居る

6. Estão agora lá longe no pasto.
（エストン　アゴラ　ラー　ロンジエ　ノ　パスト）
今はずつと彼方に牧場に居ります

7. Olhe para as vaccas.
（オーリェ　パラ　アス　ヴァーカス）
雌牛の方を御覽なさい

8. Como são bonitas e gordas!
（コモ　ソン　ボニータス　エ　ゴールダス）
何んと美しく又肥ねて居るではありませんか

註解　1. Aqui は此處に即ち自分の近く ahi（アイー）は其處即ち話對手の近く alli（アリー）は双方より遠く彼處にと各々指す場所を異にす。Este, esse. aquelle の相違の點も以上の區別にあり。

2. Dentro de の反對の語は fóra de（フォーラ　デ）と言ひ「何々の外に」と言ふことである。do は de と冠詞の o とが合縮せるものである。estão はエスタンとエストンの中間をとりて發言すべし。この語は está と同意なれども彼等。貴方等又は二つ以上の物即ち復數のものが「あります」と言ふ時用にひられ está は彼の男。彼女。若しくは貴方又は單數のものが「あります」と言ふ時に用ひらる。vaccas は vacca に s を附して復數となしたるもの。uma porção de は澤山の意。

3. 冠り詞 a, o は次に來る語が復數なるときは as, os となる。

各國電報

●日支協約

日支兩政府は滿洲に於ける長春、吉林間の鐵道布設に關する協約を定結せり、右協約に依り日本は該鐵道布設費として六百五十萬圓を支那に貸付すべし（紐育十五日）

●遣米議員團

遣米日本帝國議員團は華盛頓に到着せり（紐育十七日）

●對聯合國貿易

東京電報に曰く日本の汽船會社は兎もも政府の命に依り來月一日より十五日迄に其所有船を對聯合國貿易の爲め使用せんとす（紐育十七日）

●獨逸の國民兵召集

伯林報導に據れば獨逸政府は本年八月迄不合格の爲め兵役を免除されをりし千八百七十年乃至千八百九十九年に出生せる者を軍隊に編すべく決定せり（コーペンハーゲン十六日）

●ブルクリンの大火

ブルクリンの一大倉庫は猛烈なる火災の爲め破壞され輸出すべき小麥粉七十萬アルケール（十九萬二千五百石）の損失を見たり被害百二十萬弗に達す火災の原因は暴彈の破裂によるものゝ如く犯罪の嫌疑ありと察せらる（紐育十三日）

◎雜報

●我國の造船能力

●材料供給の如何に因る

●造船臺の激增　我國の造船業は歐洲戰亂の影響を受けて著るしく發展し戰前一千噸以上の造船臺を有するもの僅かに六七個所を數ふるに過ぎざりしも其後俄かに激增して約三十個所の多きを數ふるに至れり今各地に於て總噸數一千噸以上の船舶を建造し得べき船臺を有する造船所及び其船臺を擧ぐれば左の如し

	臺
石川島造船所	八
淺野造船所	七（外新設三臺）
同神戶分工場	四（計畫中）
橫濱船渠會社	二（計畫中）
橫濱鐵工所	五
浦賀船渠會社	三
鳥羽造船所	三
大阪鐵工場（櫻島）	七
同（四の島）	六
藤永田造船所	三
松尾鐵工所	二
小野造船所	三
原田造船所（木津川新工場）	六（計畫中）
大阪鐵工造船所	五（計畫中）
木津川造船所	二
原造船所	二
大原造船所	一
名村造船所	三（計畫中）
松田造船所	二
朝日造船所	一
大阪窯業造船所	一
川崎造船所	五
三菱造船所（神戶）	二
同造船所（長崎）	七
吉浦造船所	五
深川造船所	一（千噸型）
栃木造船所	一（千噸型）
合計二十八個所	九十四臺

●一年六十萬噸　此外尙新造船所設立の計畫を有するものも少なからざる由なれば我國の有する造船臺は本年中に少なくとも百臺に上るべく假りに機關汽機其他の艤裝品の供給を受け得べしとすれば是等の造船所が有する建造力は莫大なる額に上らざる可からず勿論右船臺の中には千噸型あり一萬噸型あり大小種種なるを以て一樣に云ふ能はざるも專門家の計算によれば平均四千噸型以上の船舶を建造し得べしと云へるを以て是等の造船所が全能力を發揮するに於ては一時に四十萬噸を建造し得べく更に一隻の竣工期間を六個月とすれば我國の造船力は一年八十萬噸に上る計算なりされどこは船臺の有する最大能力を計算したものにして五千噸の船臺に於て三千噸の船舶を建造する時は二千噸丈け減少する如く實際に於ては二割乃至三割の建造能力を減殺する事云ふ迄もなけれど兎に角材料の供給さへ自由ならば一年六十萬噸（重量噸數約百萬噸）を建造する難事にあらざるべしと

●架空的能力のみ　我國の造船能力は右の如くなりと雖も之を現實し得るや否やは要するに材料の供給如何にあり現に各地の造船所に於て建造中の船舶は約五十隻二十萬噸あるも米國の鐵材輸出禁止の爲め豫定の材料を得る能はざるに於ては立往生の已むなきに至り或は工事の遲延を免がるゝ能はざるもの少なからず其の竣工は材料供給の如何に依りて決し又今後の新造計畫も之に依つて決すべきを以て本年度內に於ける我國の新造船高は殆んど豫測する能はざる狀態にあり右の如く我國の造船能力は外國より供給さるべき材料の如何に依りて決するを以て全く獨立したる根底を有するものに非ず海外よりする材料の供給杜絕し內地產の鐵材に依り自給し得べき數量以外の造船力は之を一面より見れば架空的能力なりと云ふも過言に非ざるべし

●確實なる造船力　而して目下我國の製鐵所に於いて造船所に供給しつゝある鐵材は僅かに三萬噸乃至三萬五千噸に過ぎず之に依りて建造し得べき船舶は漸く七八萬噸を超ゆる能はずされば若し海外よりする材料の供給杜絕するに於いては如何に多數の船臺を有し如何に熟練なる技術者、職工を有するとしても十萬噸以上の船舶を建造する事は全然不可能といはざる可からず右に就き某專門家は語りて曰く「我國の造船業は表面甚だしく發展したる如くなるも材料の方面より見れば極めて心細き狀態にあり若松製鐵所の擴張、東洋製鐵の創立其他各地製鐵所の勃興に依て今後多少材料供給の增加すべき希望はあれど十分なる供給を受け得べしとも思はれず製鐵事業の勃興は造船業の上より見るも焦眉の急務なり云々

●經濟委員正式任命

●十月卅一日着桑港來三月

今回新に設置せられたる臨時財政經濟委員の委員等は九月の十三日正式に政府より任命を發せられたり同委員等は來る十月十五日橫濱出帆のコレヤ丸に搭乘し同月三十一日桑港到着の筈なるが其後東部各地方をも旅行すべく滯米期間は約三ヶ月の豫定なり渡米の目的は日米兩國の經濟關係を調査し協同聯絡の態度を執らんとするに在り

◎委員長貴族院議員男爵目賀田種太郎◎委員三井銀行代表者米山梅吉同久原鑛業會社總支配人小池張造同明治鑛業會社副社長松本健次郎同住友本店總支配人山下芳太郎同大藏書記官國債課長松本修、同橫濱稅關監査官坂口武之助、同農商務書記官男爵伊藤文吉

●新設三航路

一昨日のリオ通信に依れば伯國は英國と協議の結果三航路新設と決せるものゝ如く右はリオ、紐育。紐育、佛蘭西。佛蘭西、リオの三線にしてロイド、ブラジレーロ汽船會社所有のクルベロ。イツ。アバレ。サンターレン。クヤバ（以上は前の獨逸船）及び他の四隻にして合計九隻を以て之にあつべく同航路開始と共に從來南米聯合與國の運輸或は御用船として利用せらるべし

●亞國の同盟罷工

過般亞國に發せる鐵道就業員同盟罷工は一團の罷業者三十臺の罷業者は既に政府の復務せり然れども他の一部は勞働同盟を繼續すべしとなし十五日夜の如きは一時激烈を極めしも最も完全なる罷工にして拂込三千六百萬圓積立金二千百三十萬なりといふ

●聖州各地の溫度

聖州各地に於ける一昨日の溫度は左の通りなり

地名	最高溫度	最底溫度
サンバウロ	二〇、五	一四、〇
サントス	二四、〇	一八、〇
イグアペ	二一、六	一八、八
カンピーナス	二四、〇	一八、八
リベロン	三〇、〇	一一、八
ピラシカバ	二五、八	一四、〇
アグードス	二八、〇	一三、〇
リオクラロ	二八、〇	一五、〇
フランカ	二七、八	一八、二
アバレ	二九、〇	一八、二

●伯國名物蝗軍の襲來　十二日のクリチバ通信に曰くパラナ州リオ、カンシヤンサドール地方へガフツニヨト軍襲來し五十キロメートルに亘り耕作物の蠶食を開始せりと

●福島縣人會會報完成す　印刷鮮明內容充實、縣人會の會報としては除りによく出來過ぎたる程なり

●天長節祝賀會　過日市內の有志相集りて來る三十一日の天長節祝賀會に付き談議ありたるが會費二ミル會場として遊覽地アクリマソンを借り受くる事に決定せる由なるも其他のプログラムに至つては本號締切迄には發表の機を得べし

▲人事　數日前妹尾正男氏來聖◎翁長助成一氏昨日マトグロソより出市愈々こゝに尻を落ち付くべし◎茅原華山、多羅間鐵輔、黑石清作の三氏本日歸聖

●イグアペ便り

●桂植民地當年度の籾收穫は總高六千三百二十俵（八十リツトル入）なり平均一家族の收量二百三十四俵となる勘定である當年は賣り時により代金に大なる違ひありしが中値一俵十一ミルレイスなりしにより桂植民當年度の收得は米作だけにて平均一家族優に二コント五百ミルレイスに達せるなるべし、中には其收入の五コント三百乃至五コント七百ミルレイスとなりし者あるが此等は米作の外に甘蔗酒を造り又は炭燒を爲し之より相當收入ありし者なり米作のみにては四コント七百ミルレイス取上げたる者が當年の儲け頭なりき

●桂植民地に於ては過去一年間に出生十四ありしが死亡一人も無く住民の壯康狀態は年を經るに從て愈良好となれり植民衛生の責任者たる北島醫師は尙進て本年より每年一回必ず總住民の大便檢査を行ふことに極めた同地日下の人口は單獨勞働者を入れ合計百五十六人なり

●桂植民地主事橋田正男氏は嚴父病氣の急報に接し夫人同道九月中旬歸國の途に就いた

●九月本國よりレヂストロに到着せる植民二十一家族は何れも既に地區に就きたるが本月より來月にかけ州內地より更に十家族程同地に來住する約束である又二十六家族の新植民はタコマ丸にて已に本國を出發し引續き移民輸送船にて尙一團の植民同地に來着する筈なりといふ

●會社本店の事務主任たりし白鳥堯助氏は今般支店長として來伯レヂストロに常住することになつた同氏は多年日本銀行に在勤し最も銀行業務に通ずる人なり

●創業以來既に六ヶ年餘の久しき履歷を有し

●原料の精撰は勿論最も完全なる釀造法に依て謹製す

品質無類

マル　神印　**醬油**

サントス郵函二八二

釀造元　**神田榮太郎**

コンデ街六一

聖市販賣店　**ミカド商會**

日本金兩替

紙幣金銀貨多少に拘はらず御取替可申上候

日本賣藥、生藥、大工道具類、土佐鍬類、種子物類販賣（全部日本品）

尙今回新荷着

苦鹽（結晶固形品）豆腐原料

蒟蒻粉　こんにやく製造原料

數の子（干物）壹キロ五ミル

右新着仕候間多少に拘らず御注文下され度候

尙副業として豆腐製造及こんにやく製造御希望の御方には特約致候

ブラジル時報市內申込所

聖市コンデ　サルゼーダス街五一番

木藤商會

大澤醬油取次所

R. C. Sarzedas 51

S. Paulo

日本品卸及小賣

藤崎商會

雜貨。淸酒。醬油

Alfaiataria YABE

Systema Americana

Um terno sobre medida, de 70$ a 140$

純米國式

最新流行形各種

呢廣一組金七十弗より

百四十弗迄

コンデデサルゼーダス街

四十六番

矢部洋服店

電話四五五九セントラル

R. Conde de Sarzedas 46, S. Paulo

Tel. 4559 Central

旅館、和洋御料理一切

會席御料理

聖市コンデ

サルゼーダス街四九

上地彌藏

郵函一二二五番

珈琲園コロノ及び

カンナ受負者募集

本耕地現在の珈琲樹數は新樹拾六萬本古樹四萬本にして猶大正七年度より新樹の植付けを始め以て此をも提供します抑も本耕地所有地の內一千有餘アルケールは大なる森林で漸次に之を切り開きカンナ及ミーリヨの受負希望者にも提供します植民地に入る前に先づ豐富なる資力を充たす事が今日吾々の急務であります

本耕地には養豚業及砂糖及ピンガ製造所がありますのでカンナ及ミーリヨは幾らでも買ひあげます

Magio Diniz Junqueira,

Fazenda Perobal,

Estação Orlandia,

Linha Mogyana

(R. Igarapava)

Estado de S. Paulo

右　福川爲然

御問合せは拙者或は本耕地日本人に知人あらばその人に委しく申し越し下されたし

旅館、和洋御料理

月見亭

尙ほ旅宿者の便を計る爲め今回聖市の事情に委しき人を雇ひ入れ買物其他一般の案內手引を致すべく候

聖市コンデ街六九

村野

電話四五五九セントラル

19 de Outubro de 1917 No. 8

Noticias do Brazil

大正六年十月十九日　金曜日　第八號

第七席　五郎吉、小松新

五左衛門に劍術を學ぶ

斯様の手挟の道場ではあるが、これをた前に譲るから跡を引受けて呉れるやうに」と冇難き言葉に五郎吉は喜び、小松新五左衛門は道場を譲つて故郷の能登の七尾へ立歸る五郎吉は十八歳にして師匠の跡を引受けました其時に初めて阿母が自分の子ではない中條將監の遺子だといふ事を話して聞かせましたから自分も喜んで微になりと中條の苗跡を立てんと自から中條五郎兵衛宗景と改め師の跡を續いで中條派の劍道指南をいたして居りますと氣性は宜し年は若し小松先生から見ると弟子は三十人ばかり殖ゑて參りました

五郎兵衛も大層喜んで丹念に教へて居ると武子の弟子ばかりではない近所合壁のワイ〳〵連中夏になると身體を持餘して早くは寢られんと夜稽古に來る冬に成とさういふ連中は寒いのでいやがつて出て來ません、これを名けて蚊弟子といふ書間は諸家の藩士が稽古に參り夜は町人が多いに黒山のやうに集つて喋くつて居る此奴等が風呂へ這入つたら出やうと思ふが急に這入らない其内に朝湯だから遣せ上つて來るから風呂の中から五郎兵衛が飛出すと柘榴口に固まつて居た連中ビックリ驚ろき互ひに顔を見合せて居る内に者をも言はず五郎兵衛は濡れた身體に着物を着て湯屋を飛出して行く、跡に殘つた大勢が　甲「番頭今行つたのは横丁の先生だな　番「冗談ぢやアありませんせえ前さん方は先生が中に這入つて居るのに惡口をいふから教ゑて上げた方をうれへ打落し　五「參つた」後へ退り　五「恐れ入りました」と竹刀を提げて其儘に閑心の道場を出で逸目散に馳歸る跡に殘つた閑心が先づ是事を考へ、た人よしかと思へば却々狡猾い事を考へ、教へても解らず、諭しても悟らず、合點しても直に忘れ、奮發しても三日と續かず。

三、亂妻　鈍物にあらず、愚物にあらず、學問もあり才氣もあり、手腕もあり、客に接し隣家に對しても隨分評判よき方であるが、何分亂暴で、氣隨で我儘で、日和屋で、已れの好きな人には、裏衣まで脫でやるして舊幕時代に愛宕下にた屋敷がござりまして溝際に藪があるから是をなつて行きましたせ　甲「中に居るなれば早く教へやがりやア宜いぢやア藪加藤と申しました使し只今閑心がねわか全體手前が野呂間だから仕様演者の腹で申しましたので其頃はまだ藪加藤とは通常の人は申しませんがるんだらう　甲「冗談いつちやア往りソックリ道場を疊んで終ひ何處へ時がある、朝早く起きるかと思へばけませんよまだ朝湯だから女は一人も來やアしません　甲「先生は默つて出て行つたか　番「どうして出掛に小さな聲で番頭彼等を逃さんやうにして置け出直して來て撫切にすると云ひながら出て行きました　甲「嘘を吐つけ此野郎しかし出直して來られちや堪らねゑ」と皆々慌て、湯から上詣に參る元和から寛永へ掛けては目立つて朋友には崇められ、世人に褒められ、キチン〳〵ときまり、痒い所に手の屆く、アノ妻君があるので誰某は事業が出來る、あの家は細君で持て居ると云はれる賢夫人である然るに實の所、此賢夫人たるや、手腕のない才智の足らぬ、思案に乏しき人には缺くべからざるものなれども辛苦を經て來た、老熟した向上した而して八方に眼の屆く夫に取つては却て邪魔になる者である。女賢しくして牛賣り損ふとは、此様な夫人の事で、兎角夫のなす事が輕卒に見ゐたり、世事に暗く見ゐたりして、我が側に附いて居なければ百事に失敗すると氣をもんで、夫の事に意見を加へ、若し其意見に反すると大不服で、うれならば私は構ひません。御勝手に遊ばせ、ハイあなたはた賢いからと口には云はぬが、心に思ふて、兎角夫のなすことに同情せず。

五、良妻　所謂理想の夫人で、勿論鈍にあらず、愚にあらず、亂にあらず、而して其智惠は賢妻以上であるが、其才氣を外に顯はさず、學問あつても鼻に掛けず、意見あつても無闇に吐かず、如何なる頑石をも愛情を以て溶さんと試み、少々不同意の事にも同情を以て助けんとする所謂神佛の如き心掛けの人である、斯かる人になれば何事にも夫より相談する様になる。相談した上で、夫が其通りせずとも、矢張り夫の方を智ありとし、之に從ひ、之を贊助し、少々夫が馬鹿でも、之を立て、世間で夫の顏の立つ様に影になり、日向になつて苦勞する。誰某は仕事が出來るが、あの細君がある故だと、人に謠はれる様な事をなさず。而かも其實非常の手腕家にして美德の權化たる者をある。

婦人欄

妻の色々

まさ子

今の殿方はかれこれと女性に就て勝手な評論を遊ばします。其都度聊か癪にも障りますが中には胸にひしとこたゑるのもあります。松村介石さんの「道」に記された妻五種と題するのはいかにもと點頭かれる節がありますから左に記載します。

一、鈍妻　不精にあらず、狡猾にあらず、客嗇にあらず、生來が遲鈍にて客が來ても容易に茶菓も出さず食事の時になつても、仕度もなさず人と約束して時間に後れ、友を玄關に待たして置いて、悠々とた白粉を塗つて居る。

二、愚妻　隱さずともよい事を隱し、た人よしかと思へば却々狡猾い事を考へ、教へても解らず、諭しても悟らず、合點しても直に忘れ、奮發しても三日と續かず。

三、亂妻　鈍物にあらず、愚物にあらず、學問もあり才氣もあり、手腕もあり、客に接し隣家に對しても隨分評判よき方であるが、何分亂暴で、氣隨で我儘で、日和屋で、已れの好きな人には、裏衣まで脫でやるして夫の顏の立つ様に影になり、日向になつて苦勞する。誰某は仕事が出來るが、あの細君がある故だと、人に謠はれる様な事をなさず。而かも其實非常の手腕家にして美德の權化たる者をある。遲くまで寢る事もある。夫が錢を遣へば私も遣つてやる、夫が碁打に行けば私も役者買に行くと云ふ代物である。

四、賢妻　鈍にあらず、愚にあらず、我儘にもあらず、所謂賢き妻君である、何事をさせても出來る、智惠あり、才略がある、而して見識が

告示

今般當館に於て在留日本人土地所有者名簿を作成候に付土地所有者は至急左記の事項を届出相成たし

一、原籍名姓
一、土地の所在地及最近停車場名
一、土地の面積及買入地價
一、地價全部拂込濟の土地券所有の有無
一、年賦拂込の者は其拂込の方法及契約の時日幷に拂込濟金額

右告示す

大正六年九月

在サンパウロ市

帝國總領事館

Caixa Postal 1167

S. PAULO.

ANTUNES DOS SANTOS & COMP.

AGENTES DAS COMPANHIAS

NIPPON YUSEN KAISHA :: OSAKA SHOSEN KAISHA

大阪商船會社定期船

○タコマ丸

九月二十一日神戸出帆
十一月廿一日リオ港着
十一月廿四日サントス着

日本郵船會社臨時船

○若狹丸

十月下旬神戸出帆
十二月中旬サントス着

御用の方は左記代理店へ御照會ありたし

アンツーネス、ドス、サントス會社

(Tel. No. 340) Caixa Postal 237.

Rua Libero Badaro No. 93-95

S. PAULO.